

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 在留ラテンアメリカ人を対象とした心理相談会における相談支援内容の検討』

研究機関名 東邦大学大森病院

研究責任者 精神神経科 職位・氏名 教授・根本隆洋

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は日本で暮らすラテンアメリカ人の皆さんのメンタルヘルスの特徴とその背景、精神的健康度について調査することで、現状と必要なサポートを明らかにし不調の予防や早期介入に繋げることを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、日本で暮らす外国人の皆さんにも対応した精神保健医療サービスにおける早期相談・介入方法と実装システムを開発・検討することにつながります。

### 【他機関への提供】

NPO 法人 MAIKEN より、個人を識別できないよう加工した情報を東邦大学医学部社会実装精神医学講座及び東邦大学大森病院精神神経科に提供します。収集した情報は、解析のため松蔭大学看護学部提供します。提供は、記録媒体またはクラウドを用いて行います。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報:年代、性別、国籍、日本に住んでいる年数、一定の条件に基づいて分類した相談内容、相談回数、支援内容、精神科通院歴など

研究に利用する情報は、相談者様のお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年3月より提供を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

NPO 法人 MAIKEN 三浦左千夫

### 【試料・情報の取得方法】

対象者:2019年4月～2023年3月までにNPO 法人 MAIKEN が主催した、在留ラテンアメリカ人を対象とした心理相談会において相談をされた方

方 法:相談内容から抽出したデータを解析します。

### 【研究組織】

代表施設名:東邦大学大森病院精神神経科 研究代表者:根本隆洋 役職:教授

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医学部大森病院精神神経科 根本隆洋、福井英理子

東邦大学医学部社会実装精神医学講座 内野敬

NPO 法人 MAIKEN 三浦左千夫

松蔭大学看護学部 丸山昭子、小野坂益成、川下貴士

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学大森病院精神神経科 根本隆洋

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年2月29日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、相談者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大森病院精神神経科

職位・氏名 院内助教・福井英理子

電話 03-3762-4151 内線 6770